

教育広報

いわみざわ市の教育



…特集… パパも一緒！ サンデー広場

子ども・子育て支援のこれからを考える



第一小学校新校舎

2月7日、第一小学校で新1年生の一日入学が行われました。

昨年12月に完成した新校舎に、最初に入学することになる子どもたちが、元気よく登校し、体験授業を受けていました。

岩見沢市教育委員会ツイッター

市教委HPの更新情報や、イベント情報などをつぶやいています！
ぜひ、フォローしてください。

http://twitter.com/iwamizawa_edu



パパも一緒に！ サンデー広場



常設型子育て親子ひろば「ひなたっ子」

であえーる岩見沢3階にある、子育て親子ひろば「ひなたっ子」には、毎日たくさん親子が遊びに来ています。広くてあたたかな部屋の中からは、子どもたちの笑い声が聞こえ、同じ年頃の子どもをもつお母さんに交じって、時にはお父さんたちも楽しく過ごしています。

「ひなたっ子」の開設は毎週月曜日から木曜日、仕事をしているお父さんたちは、気軽に来ることができません。ここで見せる、子ども

たちのとびぎりの笑顔を、お父さんにも見せてあげたい、スタッフはいつもそう思っていました。

サンデー広場の試み！

そこで今年、雪が積もって公園が使えなくなる1月からの3か月間、毎月第2、第4日曜日に「ひなたっ子」を「サンデー広場」としてオープンすることにしました。

初回は1月12日、週末の大雪というあいにくの天候で「今日は来てくれるかな……」と心配しましたが午前中には9組、午後からは12組の親子が元気に遊び

に来てくれました。日曜日とあって、やはりお父さんの姿が多く、いつもの「ひなたっ子」とは少し違った雰囲気です。ちよつとドキドキしている様子のお父さんとは対照的に、子どもたちは慣れた様子でした。

「また来ようね」

午前の部、午後の部ともお片付けのあとには、楽しい歌と手遊び。絵本の読み聞かせでは、いろいろな動物が「ぴよん」と飛び上がるのにあわせて、お父さんやお母さんに「ぴよん

と高く抱き上げてもらい、子どもたちはご機嫌です。「もう一回やって！」のリクエストにお父さんやお母さんは、汗をかきながらも笑顔で応えていました。帰りぎわ、コートを着ながら「また来ようね。」とうれしそうに話す親子の姿をみて、「やってみてよかったです。」とスタッフもうれしい気持ちでいっぱいになりました。

サンデー広場は、3月まで。まだご利用されていないお父さんは、ぜひ「ひなたっ子」に遊びに来てください。



場所 岩見沢市4条西3丁目1番地
であえーる岩見沢3階
常設型子育て親子ひろば
「ひなたっ子」

問合せ先 いわみざわ子育て支援センター
0126-22-3337

子ども・子育て支援のこれからを考える



岩見沢市子ども・子育て会議

「子ども・子育て支援法」の成立

平成24年8月、子ども・子育て支援法が成立しました。この法律は「子どもが主役（チルドレン・ファースト）」という考え方のもと、子どもの健やかな成長と子育てを社会全体で応援することを目的としています。

この法律の中で、市町村は、子ども・子育て支援のために実施する事業の内容や量の見込みなどについて定め、様々なサービスを希望するすべての人が受けることができるよう、計画的に子育て支援に取り組むこととされました。



岩見沢市子ども・子育て会議

そこで市は、「岩見沢市子ども・子育て会議」を設置し、事業計画の策定に取り組むことになりました。この会議は、子育て支援事業に携わる人、保育園や幼稚園、児童館の代表、医師、大学の研究者、行政機関の職員のほか、18歳までの子どもの保護者から公募した委員も含め、12人の委員で構成されています。

11月の立ち上げから2月までの4か月間で、全体会議と専門



会議の様子

門部会を、合わせて6回開催しています。新年度も、事業計画策定に向けて議論を重ねていく予定です。

新しい子どものあそび場を

市では、中心市街地が子どもにとって楽しく、市民の皆さんにとって便利で快適な場所となるよう、子育て施設の集約などを計画しています。

そのイメージは、元気に走り回ることが出来る広々とした空間や、静かに本を読んだり絵を描いたりできるあそび場、子どもと一緒に遊ぶ場所があることです。また、利用者が楽しく愛着をもつて使える工夫や遊びをガイドしてくれるプレイリー

ダーなど、あそび場の運営についても幅広いご意見を頂いています。

子ども・子育て支援に皆さんの声を

計画策定にあたって、昨年12月に未就学児や小学生

の保護者3700人を対象に二一三調査を実施しています。今後も、広報いわみざわや市教委ホームページなどを利用し、市民の皆さんのご意見をお聞きしながら、これからの子ども・子育て支援を考えていきたいと思っています。

インフルエンザに注意しましょう

インフルエンザが流行しています。家庭内で、以下のことに気を付け、予防を徹底してください。

- ①外出後の手洗いやうがいを徹底する。
- ②部屋を適切な湿度（50～60％）に保つ。
- ③十分な休養とバランスのとれた食事を心がける。
- ④流行時には人混みを避ける。

Facebookはじめました！！

教育委員会では昨年11月からフェイスブックページを開設しています。市内の教育に関連する行事の情報、市教委ホームページの更新情報などを発信していきますので、ぜひ「いいね！」.....してください。



<http://www.facebook.com/edu.iwamizawa>

がんばりを発見!

～岩見沢市教育実践奨励表彰を紹介します～

教育委員会では、毎年1年間に部活動などで活躍した児童生徒や、本市の教育に貢献していただいた個人や団体などを表彰する「岩見沢市教育実践奨励表彰」を行っています。昭和60年度から昨年度まで28年間で、延べ629人、164団体を表彰してきました。

○表彰の目的

スポーツや文化活動などの分野で活躍した児童生徒のほか、学校教育、社会教育などの実践研究や地域の教育の活性化に優れた実績を残した個人や団体を表彰することで、本市の教育の発展に寄与することを目的としています。

○表彰の種類

表彰には、奨励賞と児童生徒優秀賞の2種類があります。児童生徒が出場した大会の成績や活動の実績などを基準に、選考委員会を開催し受賞者を決定しています。

○表彰式

毎年、「教育実践奨励表彰式」を開催しています。昨年度は、2月21日(木)に、であえーる岩見沢3階の、であえーるホールで行いました。奨励賞を受賞した個人32名(うち欠席者4名)、6団体に、教育長から表彰状と記念品を手渡しました。



昨年度の表彰式



昨年度の受賞者の皆さん

今年度も、2月21日(金)に、同じ会場で表彰式を行います。教育委員会のホームページには表彰式の様子のほか、受賞者全員の紹介なども掲載しますので、ぜひご覧ください。

○写真展

受賞した児童生徒が大会などで活躍している場面や表彰式の様子を紹介する写真展も毎年開催しています。子どもたちが頑張っている姿を市民の皆さんに広く知ってもらうのが目的です。

今年度の会場と日程は次のとおりですので、近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



市役所での写真展

子どもが輝く岩見沢
がんばりの軌跡2013写真展

・市役所本庁舎1階ロビー
2月17日(月)～2月28日(金)

・であえーる岩見沢3階
2月17日(月)～3月31日(月)



参加して楽しいPTA活動

南小学校

開校107周年を迎えた南小。子どもたちはもちろん、保護者も先生も、そして校舎も力を合わせて頑張っています。



花壇の整備

まずは校舎、環境部が中心となり、定期的に花壇を整え、教室の壁塗りだっ

てしちゃいます。

そして、今年度の文化部は、カラーコーディネート、鍋帽子料理、ストレッチ体操の講習会を開き、みんなでわいわい参加しました。クラスでは学級代表・副代表を中心に、時にはクラスのを越えて、時には校外の方々の力をお借りして学んだり遊んだり……

その活動内容は、広報部が年2回発行する「広報みなみ」に載せて会員のもとへ。

へ。

忘れちゃいけないのが黒子ネットワーク（おやぢの会）！グラウンドの雪割りのほか、毎年8月に主催する「スポーツ★ゲーム☆食の祭典」では、おやぢたちが知恵と力をふりしほつてホストに徹し、大いに盛り上がりまじりまし



スポーツ★ゲーム☆食の祭典

最近、環境部の活動にも男性の参加が増えていきます。これらの全般をサポートする事務局は、役員をやつてよかつたと思えるよう、役員交流会・分散会と交流の場も企画。今年もそろそろ分散会の季節です。恒例の早食い競争「飲んで食べ吸っちゃって」等々を準備して、皆さまの参加を待たばかりです。

学校を応援するPTAの取組

～各学校PTAの活動紹介～



市内26の小・中学校・市立高校の単位PTAの活動の様子を順に紹介していきます。

子どもたちの安心・安全と快適な学びの環境づくり

光陵中学校

本校PTAでは、学校行事を支援する活動や子どもたちの快適な学びの環境をつくる活動として、①学校祭バザー ②ジャージ・制服リサイクルバザー ③学校クリーン作戦 ④学年・学級レク



学校祭バザー

リエーションな活動を多くの会員の参加を得て実施しています。

また、会員の研修や親睦を目的に、①高校説明会 ②文化的行事 ③ミニバレー交流会などを実施しています。これらの活動を広報部を広報部発行の広報誌「光陵」(年2



ミニバレー交流会

本校PTAでは、学校行事を支援する活動や子どもたちの快適な学びの環境をつくる活動として、①学校祭バザー ②ジャージ・制服リサイクルバザー ③学校クリーン作戦 ④学年・学級レク



防災訓練

「一斉行動日」を設定し、登下校中の子どもたちの見守りや挨拶・声かけ運動を展開しています。「横断歩道は必ず自転車から降りて渡る」という子どもたちの輪が、全市に広がっていくことが4校のPTAの共通の願いです。

楽しいキッズスポーツ教室 スポーツ推進委員

小学校低学年はプレ・ゴールデンエイジ（5～8歳頃）と呼ばれ、運動能力の基礎の形成に最も適した時期であり、ゴールデンエイジ（9～12歳頃）は、運動の動きを覚えるのに最も適した時期であるとされています。そのため、体力差がはつきりと現れる年齢は10歳頃ではないかと言われています。

こうしたなかで、岩見沢市の子どもたちは、全国・全道の子どもと比べて体力が下回っているとの調査結果があることから、プレ・ゴールデンエイジのうちにいるような運動を経験して運動の楽しさを知り、体力向上のきっかけにしてみよう、平成23年度から「楽しいキッ



楽しくケンステップ

ズスポーツ教室」を市内の小・学1～3年生を対象に月1回開催しています。どんな運動なら子どもたちに興味をもってもらえ

るか、低学年でもできる動きや楽しいゲーム性を考え、毎回テーマを設けて企画・立案します。本番前に全員でアイディアを出し合って安全性や効率性を検討し、本番では知識・経験を生かして、動作の模範を示しながら子どもたちに運動を指導しています。昔ながらの玉入れ、長縄とび、ゴムとびに加え、歩くスキー、雪上サッカー、人間ばんばんなどの雪上での運動もメニューに取り入れ、子どもたちにも体験してもらっています。毎回終了後には反省会を行い、出された意見を次回以降に反映させていきます。



みんなでバドミントン

教室申込者も年々増え、平成25年度は189名となっております。（平成23年度126名、平成24年度163名）

キッズスポーツ教室卒業後、少年団やスポーツクラブに参加するなど、子どもたちに継続した運動習慣を持つてもらえるよう、今後ともスポーツ推進委員一丸となって、スポーツを楽しむきっかけづくりをしていきたいと思っております。

日本の伝統文化 おもてなしの心

茶道表千家好風会

昨年は、茶の湯を大成した千利休の後継者千家二代少庵宗淳居士の四百年忌でした。少庵から元伯宗旦に伝えられた利休の茶は、表千家、裏千家、武者小路千家に継承されて現在に至っています。その歴史に触れるとき、

茶道の奥の深さを強く感じます。

表千家好風会は、昭和53年に発足しました。お稽古を通じて、茶道に関する知識を深め継承していくこと、また、その知識を広くみんなに普及していくことや茶道を身近に感じてもらうことを目的としています。日々のお稽古の研鑽に加え、一年を通して主に次のような活動をしています。

岩見沢神社の朝茶の奉仕（42年目に入ります）、岩見沢市戦没者慰霊



岩見沢神社の朝茶の奉仕



市民の文化祭呈茶席

祭呈茶席（11年目）、市民の文化祭呈茶席（36年目）、岩見沢神社七五三呈茶席（24年目）、初風炉の茶事、朝茶の茶事、炉開きの茶事等を行っています。小学校で茶道クラブの指導をしている会員もいます。

また、社中の子どもたちが、日ごろお世話になっている両親や先生、身内の人たちへの招待状を作り、市内の茶室「玉泉庵」でお茶会を開きました。子どもたちの真剣なお点前の姿、振る舞いに接し、いらしてくださった皆さまからは、沢山のお褒めの言葉を頂きました。緊張していた子どもたちもほっとして、笑顔が戻りました。自分たちが心をこめて点てた一服のお茶を通して、おもてなしの心、人を思いやる心の大切さを学んだことと思います。



玉泉庵でのお茶会

呈茶席を設けることにより茶道を身近に感じてもらい、茶道を通じて日本の伝統文化とその重要性についての理解を少しでも深めていただければと思います。

みんなで食育

食物アレルギーを考える

文部科学省の調査で、学校が食物アレルギーと把握している小中学生が、前回調査からの9年間で33万人(2.6%)から45万人(4.5%)に12万人も増加したことが分かりました。

昨年度、東京都では、給食を食べた小5女児が急性アレルギー反応(アナフィラキシーショック)を起こして死亡する

事件も発生しています。これからは、給食調理所と学校、家庭の連携を一層密にして、子どもたちが安全で安心して過ごせる環境づくりに努めなければなりません。

本市でも昨年11月、市内の医師を講師に招き、教職員などを対象にした「食物アレルギーに関する研修会」が開催されました。給食調理所の職員も参加し、食物アレルギーに関わる予防や実際の対応について正しい知識と理解を深めることができました。

また、給食調理所では、調理員が定期的に衛生に関する学習会を行っています。今年度からは、この中に食物アレルギーについての内容を盛り込むなど、全職員で学習に努めています。

食物アレルギーは、本来人間の体にとって必要であるはずの食物が、体内で異物として認識され、それを排除しようとして起きる疾病です。原因となる食物は非常に多く、人間が食べる全体的な原因になり得ると言っても過言ではないくらいです。さらに、食物アレルギーを持つ、持たないに関わらず、現在の子どものたちの食生活は大きく変わってきています。健全な心身を培い、豊かな人間性を育てるためにも、家庭と学校が連携して食育を推進することが大切です。

教育長室から

子どもが教育を受けることは、国民の基本的権利の一つです。憲法26条には、「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する」と書かれています。

これは、子どもが学習によって自らの可能性を開花させ、人間として豊かな成長を遂げることは子どもの生来的な権利であり、私たち大人一般がその教育を担う義務を負うというものです。

義務教育で 基礎学力の定着と向上を すすべての子どもに



基礎学力の定着と向上をすすべての子どもに。内容は、子どもが社会で自立するために最低限必要な学力と言われています。この基礎学力をすすべての子どもたちに保障する取組をしていくことが

判断力、表現力や学習意欲を育むことが求められています。このことから、小・中学校での学習内容は、子どもが社会で自立するために最低限必要な学力と言われています。この基礎学力をすすべての子どもたちに保障する取組をしていくことが

教育委員会や学校の責務と考えています。全国学力・学習状況調査のように「パーテスト」で測れる学力は「学力の一部」でしかありませんが、現在の我が国においては、進学、就職、さらには昇進や資格取得に至るまで、人生の様々な局面で数字としてあらわれる学力も求められており、そのような

学力の定着や向上を図ることは、子どもたちの進路実現や自立につながるものと考えています。岩見沢の子どもたちが、基礎・基本をしっかりと身に付け、夢や希望を膨らませ、未来に向けて大きく成長するために、学校や家庭と連携して、学力の定着と向上に取り組んでいきたいと考えています。

家でできる簡単給食レシピ♪

「ビビンバ風」(1月の給食より)

- **材料(4人分)**
- 豚ロース肉(細切り)…50g 豚もも肉(細切り)…150g 人参…1/3本 竹の子(千切り)…60g ほうれん草…1/2束 干椎茸…ひとにぎり
 - もやし…1/2袋 おろし生姜…小さじ1 おろしにんにく…小さじ1 ごま油…少々
- 【合わせ調味料】
- 赤みそ…大さじ1 みりん…大さじ1/2 三温糖…小さじ2 醤油…小さじ1 トウバンジャン…少々

- **作り方**
- ① 食材は、全て細切りにする。
 - ② もやし、ほうれん草は、下ゆでをし水分を絞っておく。
 - ③ 干椎茸は、戻しておく。
 - ④ ごま油でにんにくを炒め、豚肉、豚もも肉、竹の子、人参、椎茸の順で炒める。
 - ⑤ ④に合わせ調味料を入れる。
 - ⑥ 仕上げにもやし、ほうれん草を炒めてできあがり。



ひとくちメモ
子どもたちに人気のメニューのひとつです。給食では、ごはんを混ぜて混ぜて食べます。ごはんを混ぜると、炭水化物・たんぱく質・ミネラル類が1品でとれる、栄養バランスが整った魅力的な料理のひとつになります。野菜が苦手な子どもも喜んで食べてくれます。

=ご意見・ご要望をおよせください=

<担当> 岩見沢市教育委員会学校教育課情報企画係
〒068-0024 岩見沢市4条西3丁目1番地
であえーる岩見沢3階
☎ 0126-35-5123
FAX 0126-25-2995
メール ejyouhou@i-hamanasu.jp